

平成 29 年 8 月 吉日

各 位

特定非営利活動法人
野生動物救護獣医師協会
会長 新妻 勲夫

平成 29 年度 油等汚染事故対策水鳥救護研修のご案内

環境省自然環境局主催の「油等汚染事故対策水鳥救護研修」は今年も東京都日野市にある環境省水鳥救護研修センターにて開催されます。2000 年に開所し、毎年 3 回研修会を開催しております。これまで全国より 700 名以上の方が研修に参加されました。獣医師、動物園、水族館関係者は、毎年、多くの方にご参加いただいております。

環境省より委託を受け、本年度も当協会が標記事業を開催することになりました。

日本では毎年、油汚染事故が発生しております。ナホトカ号クラスの事故は、日本では十数年おきに発生するといわれています。

当センターの 2 日間の研修は、法的な話、油の種類や対策と処理、海鳥の生態、事前準備、救護法についての講義と、洗浄実習があり、行政担当者向けと現場での救護リーダー向けの 2 コースがあります。

油等汚染鳥の救護は全体的な企画、運営をする行政事務担当と直接動物を診療する獣医師等に分かれるため、両者が共通認識をもって行動する必要があります。

研修会で学んだことを伝達していただき、また、職場での事前準備や実際の事故発生時に役立てていただければと思います。

今年も研修に是非、ご参加ください。お待ちしております。

平成 29 年度「油等汚染事故対策水鳥救護研修」実施案内

目的：油等汚染事故発生時に、野生鳥獣保護の観点から迅速かつ的確に対応できるよう、油等に汚染された水鳥の救護等に関する共通認識と技術を習得することを目的とする。

日程：第 1 回：現場救護リーダー向け 平成 29 年 10 月 11 日（火）、12 日（水）
第 2 回：現場救護リーダー向け 平成 29 年 11 月 21 日（火）、22 日（水）
第 3 回：鳥獣保護行政担当者向け 平成 30 年 1 月 18 日（木）、19 日（金）
現地研修：開催地は佐賀県 平成 29 年 12 月 7 日（木）
＊現地研修には実習がございません。
現地研修の案内および募集は別途掲載します。

内容：以下のような事項に基づき、講義および実習形式で研修を行う。

- ① 油等汚染事故における行政の役割対応
- ② 油等流出事故の基礎知識
- ③ 日本の油等流出事故時の情報体制
- ④ 水鳥の生態
- ⑤ 油汚染鳥の保護法・治療法・洗浄法
- ⑥ その他

＊鳥獣保護行政担当者向けと現場救護リーダー向けで内容が若干異なります。

会場：環境省 水鳥救護研修センター研修室
〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 TEL 042-599-5050 FAX 042-599-5051
HP <http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/oiled-wb/>

佐賀県 佐賀県庁 県庁舎新館 11 号会議室
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59

対象：国・地方自治体の鳥獣行政等職員、鳥獣保護センター等職員、獣医師、
鳥獣保護員、動物園・水族館職員、水鳥救護に携わる関係者等

定員：1 回あたり 30 名（先着順）
＊申し込みは各開催日の 2 週間前まで。定員になり次第締め切り。

参加費：無料（参加のための交通費、宿泊費等は自己負担）

申込用紙：別紙

申込先：環境省 水鳥救護研修センター
〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 TEL 042-599-5050 FAX 042-599-5051

主催：環境省

請負：特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会（WRV）

平成29年度油等汚染事故対策水鳥救護研修 講義内容

講義内容は鳥獣保護行政担当者向けと現場救護リーダー向けで若干異なります。

	講義名	内容	鳥獣保護 行政 担当者向け	現場救護 リーダー向け
1.	国の油等汚染事故対応	油流出事故における法体制・事前準備と緊急時対応、NPOやボランティアとの協働及びその養成	○	
2.	油等流出事故の基礎知識	油等流出事故とは何か、なぜ起きるのか、流出油の性状と経時変化、事故への対応と流出油の防除法	○	○
3.	都道府県の油等汚染事故対応	防災ガイドラインやマニュアルへの油等汚染事故対応の明記、事前準備、油汚染事故時の各種対応、体制づくり、事後処理、報告	○	○
4.	日本の油等流出事故に向けた情報体制	情報収集、連携と体制づくり	○	
5.	水鳥の生態	水鳥の種類、生体、生息状況、被害把握等、影響調査の意義	○	
6.	油汚染鳥の保護法	保護から放鳥まで、汚染鳥の状況、優先順位、収容中の飼育管理、傷病鳥の診療	○	○
	油汚染鳥の治療法		○	○
	油汚染事故事例		○	
7.	洗浄実習	保定、カルテ記入、一般検査、強制給餌、洗浄と乾燥	○(90分)	○(120分)
		プールの設置、採血、血液検査、油と羽毛について		○(50分)

タイムスケジュール

<第1回 現場救護リーダー向け>

<10月10日(火)>

12:30~12:40	開会あいさつ (10分)	環境省自然環境局鳥獣保護管理室 NPO 法人野生動物救護獣医師協会
12:40~13:40	講義：都道府県の油等汚染事故対応 (60分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会 箕輪 多津男
13:50~16:50	講義：油等流出事故の基礎知識 (180分/休憩10分)	一般財団法人海上災害防止センター
17:00~17:40	参加者交流 (40分)	(無料：参加自由)

<10月11日(水)>

10:20~10:40	実習：重油の実験 (20分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会 齊藤 量子
10:50~12:30	講義：油汚染鳥の保護・治療・リハビリ (100分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会 皆川 康雄
12:30~13:30	昼食 (60分)	
13:30~15:30	実習：油汚染鳥の検査・洗浄法 (120分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会 (各班に分かれて実施)
15:40~16:10	アンケート記入、質疑応答 (30分)	
16:10~16:20	閉会式：修了証書授与、閉会あいさつ (10分)	環境省自然環境局鳥獣保護管理室 NPO 法人野生動物救護獣医師協会

タイムスケジュール

<第3回 鳥獣保護行政担当者向け>

<1月18日(木)>

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 12:30~12:40 | 開会あいさつ
(10分) | 環境省自然環境局鳥獣保護管理室
NPO 法人野生動物救護獣医師協会 |
| 12:40~13:10 | 講義：国の油等汚染事故対応
(30分) | 環境省自然環境局鳥獣保護管理室
岩野 公美 |
| 13:20~14:20 | 講義：都道府県の油等汚染事故対応
(60分) | NPO 法人野生動物救護獣医師協会
箕輪 多津男 |
| 14:30~16:50 | 講義：油等流出事故の基礎知識
(140分/休憩10分) | 一般財団法人海上災害防止センター |
| 17:00~17:40 | 参加者交流会
(40分) (無料：参加自由) | |

<1月19日(金)>

- | | | |
|-------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 10:00~10:40 | 講義：水鳥の生態
(40分) | 公益財団法人日本野鳥の会
山本 裕 |
| 10:50~11:40 | 講義：日本の油等流出事故に向けた情報体制
(50分) | 日本環境災害情報センター
大貫 伸 |
| 11:50~12:30 | 講義：油汚染鳥の救護法と救護事例
(40分) | NPO 法人野生動物救護獣医師協会
皆川 康雄 |
| 12:30~13:30 | 昼食
(60分) | |
| 13:30~15:00 | 実習：油汚染鳥の洗浄法
(90分) (各班に分かれて実施) | NPO 法人野生動物救護獣医師協会 |
| 15:10~15:40 | アンケート記入、質疑応答
(30分) | |
| 15:40~15:50 | 閉会式：修了証書授与、あいさつ
(10分) | 環境省自然環境局鳥獣保護管理室
NPO 法人野生動物救護獣医師協会 |

平成29年度 油等汚染事故対策水鳥救護研修 参加申込書

環境省水鳥救護研修センター

下記のとおり、第 回(月開催)油等汚染事故対策水鳥救護研修に
参加を希望いたします。

所属機関・団体名	
住所 (案内送付先)	〒 —
電話	
FAX	
(フリガナ) 参加者氏名	-----
役職	
E-mail	

環境省水鳥救護研修センター
申込FAX番号 042-599-5051
TEL番号 042-599-5050